



対談の際は、充分に距離を取り、飛沫感染対策用の透明アクリルパーテーションを設置し、感染対策を行いながら取材しました

スペシャル  
対談

男性看護部長が語る

# 僕たちは、看護の 道で生きていく



IMS(イムス)グループ  
新越谷病院  
看護部長  
**神田 直孝**さん



東京都保健医療公社  
多摩北部医療センター  
看護部長  
**宮崎 隆**さん



全国でもまだ珍しい男性看護部長のお二人にご参加頂き、  
これまでの道のりを通して、  
男性である葛藤や看護の道を突き進む決意について、  
たっぷりとお話を伺いました！



**FLAp! チャンネル**



近日公開

スペシャル対談の  
動画もチェックしてね！

## 看護師が楽しく笑顔で全力を発揮できる環境を整えたい

「まずは、お二人が看護師になられたきっかけをお聞かせください。」

**神田** 私は看護助手として病院で働いている時、同じフロアにいた先輩男性看護師の仕事ぶりに憧れたのがきっかけです。人としても尊敬していたその先輩に背中を押されるようにして看護学校に入ったのですが、実習などを経験するなかで、患者さんと心を通わせられる本当に素晴らしい仕事だと思えてきて、どんどん看護の道にハマっていった...という感じです。

**宮崎** そうなんです。私は、兄が看護学校に進学したのが最初のきっかけです。それまでは「看護師＝女性の仕事」と思っていて、自分の将来の選択肢として考えたこともありませんでした。男性の看護師がいることもそのとき初めて知りました。以前から漠然と人の役に立つ仕事が出来たいとは思っていたので、医療職もいいなと思い、兄に続いて看護学校に進学しました。

**神田** 当時、男性看護師はものすごく珍しかったと思います。



「これでしたか？」

**宮崎** もともと私自身はあまり意識していなかったのですが、新人時代にある先輩看護師に「私たちが普段、あなたにどれくらい気を遣っているかわかっているの？」と言われたことがあって...。そのときに、周りは意識していたんだな、自分は「男性」看護師として見られていたんだなと、改めて感じました。それから、男性ならではの特性や良いところを活かせるよう心がけてきました。

**神田** 「男性看護師」とは言っている女性看護師とは言いにくいところもあるように、やはり男女の線引きはあるものです。これは悪いことではなくて、無理に女性に同化しようとして女性のマネをするのではなく、男性は男性の強みを活かしていけばいいと思っています。実際の現場でも、女性にはない切り口で考えたり発言できたりすることもあります。むしろ、男性が少ない世界だからこそ、自分たちでゼロからルールを敷いていくことができて、私はそれがものすごく楽しいですね。

「現在、お二人がお勤めの病院では、男性看護師の割合や、男性看護

ですが、周囲の反応はいかがでしたか？」

**宮崎** 同級生は「え、男子が看護学校に進学するの？」と驚いていましたね。ただ、私自身は特に違和感はなく、よくわからないまま飛び込んだ...という感じでした(笑)。

「看護師としてキャリアを積めるなかで、管理職を目指された理由をお聞かせください。」

**神田** 看護師として働くなかで、自分一人の看護の力には限界があることを感じてきました。だったら、自分が管理職になって、看護師一人ひとりが100%力を発揮できる環境を作れば、より大きなパワーを生み出せるんじゃないか。そんなふうに考えて、管理職の道を選びました。

**宮崎** 私も同じく、看護師が働く環境を整えたいと思ったのが動機です。現場の声を看護部に伝えてもなかなか改善されない実情があったので、なんとかしたい、みんなが楽しく前向きな気持ちで働ける環境に変えていきたい、それなら自分が決定権を持つ立場に就こう...と思い、管理職を目指すようになりました。

「女性に同化するのではなく、男性の強みを活かしていく」

「看護の現場は女性が多いなか、男性」看護師であることを意識して

師がいる病棟の雰囲気はどのような感じでしょうか？」

**宮崎** 多摩北部医療センターでは、280人ほどいる看護師のうち男性は16人なので、割合は6%です。数字的にはまだまだ少ないですが、ゆくゆくは全病棟に男性看護師を配置したいと考えています。というのも、男性看護師が病棟にいますと雰囲気がいいねと言われることも。男性がいることでなんとなく和らぐという...。雰囲気良ければそれだけ仕事の質も上がりますから、患者さんに良い看護を提供するという意味でも、男性看護師の存在は大きなメリットだと感じています。

**神田** まさに同感です。かつて私も「あなたが来たら病棟の雰囲気が変わったわ」と言われたことがあります。女性看護師が目線や声に訴えるようになると、良い意味で張り合いが出てくるのでしようね。イケメンかどうかは関係ない(笑)。

**神田** 新越谷病院は、110人ほどの看護師のうち男性は12人なので、割合は10%くらい。4つの病棟すべてに男性看護師を配属しています。男性の看護部長がいるということで、男性看護師の応募が増えている手応えは

## 新越谷病院 看護部長 神田 直孝 さん

### Q リフレッシュ方法は？

8歳、5歳、6ヶ月と子どもが3人いるので、一緒に遊ぶのが一番のリフレッシュになっています。また、料理も好きなので、休日にはちょっと手の込んだものを作ります。先日は、家族が大好きなイクラ漬けを作りました。子どもたちの「パパ、またあれ食べたい!」を聞くのが最高の幸せです。

1978年生まれ、埼玉県出身。看護補助者としての病院勤務を経て、看護専門学校へ進学。2005年に看護師免許を取得後、IMSグループの板橋中央総合病院に就職。埼玉セントラル病院、イムス三芳総合病院を経て、2019年より現職。

### Q 学生時代に大切にしていたことは？

看護学校のカリキュラムは膨大で、ときには勉強を投げ出したくなることもあるでしょう。そんなときには、なぜ看護師になろうと思ったのか、どんな看護師になりたいと思ったのか、という原点に立ち返ってみてください。その純粋な思いは、看護師になってからも、あなたを支える軸となるはずです。

### Q 看護師1年目、壁にぶつかったときは？

自分は全然ダメだ、できないことばかりだ...と落ち込んだときには、「4月1日の自分」と「今の自分」とを比べてみてください。入職したての頃からは、何かしら変化し、成長しているはずです。まずは、自分の進歩を認めてあげること。そうすることで、次にクリアすべき課題にもポジティブに向き合うことができますよ。

## 多摩北部医療センター 看護部長 宮崎 隆 さん

### Q 学生時代に大切にしていたことは？

看護の知識や技術のほか、感性を磨くことにも意識を向け、いろんな人と関わってほしいと思います。相手がどんなふうに見えるのかに思いを馳せ、自分はどういう態度をとれば良いかを考えてみる。学生時代にそういう経験を積んで豊かな感性を育んだ人は、看護師の仕事もきっと楽しめると思います。

### Q 看護師1年目、壁にぶつかったときは？

1年目の新人看護師の多くが、6月頃に1回目、9月頃に2回目の壁にぶつかります。1年目とはそういうものだとあらかじめイメージしておく、いざ壁にぶつかったときにも自分を客観視でき、過度に落ち込まずに乗り越えられると思います。あとは、落ち込んだら同期を頼る! (笑) ぜひ、同期を大事にしてほしいと思います。

### Q リフレッシュ方法は？

愛犬の「はな」としゃべることが(笑)。そもそもストレスを溜めないよう日々楽しく仕事をするを心がけていますが、ときにはつらいことや悩んでしまうこともあります。そんなときこそ自宅では気持ちを切り替えて、おおらかに、のんびりと過ごすようにしています。落ち着いたら、大好きな野球観戦にも行きたいです。

1965年生まれ、長野県出身。1987年に看護師免許を取得後、東京都・都立病院看護部に就職。数々の病院を経験しながらキャリアを積み、2019年に現職に就任。都立病院で初となる男性看護部長となる。





## Hospital Data

IMS(イムス)グループ  
新越谷病院

〒343-0815

埼玉県越谷市元柳町6-45

TEL: 048-964-2211(代)

http://www.ims.gr.jp/shinkoshigaya/



## Hospital Information

昭和53年に開院して以来、慢性期医療に特化した病院として地域の医療を支えてきた。一般障害者病棟、医療型療養病棟、特殊疾患病棟、回復期リハビリテーション病棟の4つの病棟をもち、亜急性期医療にも対応している。訪問看護ステーションと地域包括支援センターを併設し、在宅医療と連携した終末期医療にも取り組んでいる。



新人研修の最大の特徴は、少人数制なので一人ひとりに目が行き届き、講義・演習への理解度を把握しながら進行できること。簡実に成長していきましょう！



新人研修後は「お茶とお菓子でほっと一息」リフレッシュの時間もとっています



上海で行われたアジア慢性期医学会で  
当院の看護が優秀賞を受賞しました



「3年で一人前のナースへ」をコンセプトにしたクリニカルラダーとグロウアップ研修(新人看護師臨床研修)で、無理なく着実にステップアップしていくことができます



## Hospital Data

東京都保健医療公社  
多摩北部医療センター

〒189-8511

東京都東村山市青葉町1-7-1

TEL: 042-396-3811(代)

http://www.tamahoku-hp.jp/



## Hospital Information

公益財団法人東京都保健医療公社が運営する総合病院。平成18年には地域医療支援病院に認定され、多摩北部地域の急性期中核病院となっている。「医療で地域を支える」という公社の基本理念のもと、25の診療科で乳幼児から高齢者までのさまざまな疾患に対応している。

今年は20人の新人看護師が入職。研修で、現場で、切磋琢磨しながら学んでいます。病院全体で男性看護師は16名在籍。明るいビシンの制服は、実は男性看護師にも好評です！



ありますね。最近、女性ばかりだと不安だからと男性看護師のいる病棟に配属を希望する新人もいますが、たとえば男性が自分一人でもやっていたくまじさがほしいと思います。

**宮崎** わかります。男性が少しずつ増えてきたとはいえやはり看護の現場は女性社会なので、そのなかでどううまくやっていくかが大事なんですよね。男性看護師同士で仲良くなり支え合うのはもちろん良いのですが、男性とだけうまく付き合おうとするって浮いてしまいますから。

**神田** そうですね。自分のことを振り返っても、男性が少ないぶん良くも悪くも目立ってききましたが、だからこそチャンスも転がってきやすく、思い切った挑戦もできたんじゃないかなと思います。

**実習不足で未熟な技術は入職後にフォローできる！**

——コロナ禍のなか、看護の現場や看護師の皆さんには何か変化はありましたか？

**神田** コロナ禍を機に、看護師が世間の多くの人々から必要とされる仕事であることを再認識し、使命感に奮い立っている人が多いように感じます。今までとは目つきが違うスタッフもいますね。自分の仕事の社会的

意義を改めて感じ、誇りや責任感が芽生えたのでしょうか。

**宮崎** そうですね。看護師の果たす役割が世間に伝えられ、過酷な現場で日々頑張っている...ということを知っていただけたのは良かったと思います。一方で、現場の看護師たちは厳しい状況のなかでも使命感を持って前向きな気持ちで働いてくれているので、看護職に対してネガティブなイメージだけが先行しないといいなと思っています。実際、看護師一人ひとりの意識が高まり、病院全体でこの状況に立ち向かうんだという一体感も生まれています。本当に大変なコロナ禍ですが、看護師が自分の仕事にプライドを持つ一つのきっかけになったという面もあると、前向きに捉えたいと思っています。

——コロナ禍は看護学生にも大きな影響を与えました。実習や就活が思うようにできず、不安を感じている学生にアドバイスをお願いします。

**神田** 来春就職予定の人のなかには、実習がリモートになってしまいい現場は1年ぶり...という人も少なくないでしょう。不安かもしれませんが、どこも同じ状況であり、病院側もその事情を踏まえたくって新人研修を組み直しているはずですよ。過度に心配せず、いろんなことを吸収するつもりでとんとんと飛び込んできてほしいと思います。

るつもりでとんとんと飛び込んできてほしいと思います。

**宮崎** 臨床実習が十分にできていなかったことは承知しているので、新人研修でも実技的な部分を厚くする予定です。知識や技術で足りていない部分は、入職後に取り戻せますから心配無用です。

**神田** 採用の際の選考基準も、看護の知識や技術ではないですからね。看護部長が見ているのは、その人の看護観や人柄、そしてこの病院でどうなっていきたいかというビジョンなので、「コロナのせいで実習ができなかったから自分はダメだ...」とネガティブにならないでほしいと思います。

**宮崎** これから社会人になる人たちのことを、世間では「コロナ世代」なんて呼びだす風潮もありますが、「コロナで大変な時期に就職した世代」であるとポジティブに捉えましょうよ。

**神田** そうです、ポジティブに！あとは、今後という状況になるかわからないので、見学にせよインターンシップにせよ、病院には行けるうちにやっておくことをおすすめします。

**宮崎** 実際に足を運んで、職場の雰囲気を感じてほしいと思います。最初に就職した病院や組織で働き続けられるのが理想なので、新卒で就職する病院はとても大事なんです。

## 看護師の笑顔も患者さんの笑顔もさらに増える病院に

——では最後に、今後のご自身の目標をお聞かせください。

**神田** 今の職場の雰囲気の良いや働きやすさには看護部長として自信があるので、今後はこの病院の良さを積極的に発信し、ランドマークになるような病院へとブランドディングしていきたいと考えています。また、たとえば私がいなくなったとしても今の風土や良さが脈々と受け継がれるよう、同じ志を持って進んでいく仲間をもっと増やしていきたいですね。スタッフが楽しく笑顔で働いている病院では、必ず患者さんの笑顔も増えますから。

**宮崎** 私の目標は「看護師さんがいいから」という理由で患者さんには選ばれる病院にすること。そのためには、看護師の質を上げることが重要で、質を上げるためには研修や教育の拡充が必要で、さらに働きやすい環境づくりも大事で...と、すべてが繋がってくると思っています。数年後には多摩北部医療センターの改築が決まっているので、自分のやりたい看護ができる病棟作りに携われると、今からワクワクしています。

## 素晴らしい未来が待っています！

求められる喜びを、ぜひ感じてください！



### 学生のみんなへ応援メッセージ

看護師は、「あなたにいてほしい」と人から社会からも手放して求められる職業です。必要とされる喜びや相手のニーズを満たせたときに感じるやりがい、言葉では言い表せないほどのものです。そんな素晴らしい職業である看護師を目指す皆さん、ぜひ一緒に、看護の世界をより良いものにしていきましょう。

## 男性看護師に期待しています！

### 学生のみんなへ応援メッセージ

看護師を続けてきて実感するのは、やればやるほど深まる世界だということです。つらいこともありますが、患者さんと関わることで、その何倍もの喜びが得られます。男性看護師はまだ少ないので、パイオニアとしてどんどん現場で活躍し、これからの看護を支えてほしいと思います。



パイオニアになって、どんどん活躍してください！